

# 「防災まちづくり」報告書要旨

## 1 「見える化」分析の要旨

- 不燃領域率の向上、建築物の耐震化に向けこれまで様々な施策を展開し改善を図ってきた
- 一方で、目標達成(不燃領域率:70%(H32) 耐震化率(緊急沿道:90%(H31) 耐震化率(住宅):95%(H32))に向けては、防災まちづくりの取組の一層の加速が必要

		目標	現状	目標達成に向けた現行施策	新たな施策
燃えない・燃え広がらない	緊急輸送道路沿道建築物	○不燃領域率	○不燃領域率	(土地区画整理事業・再開発事業) 危険度が高い地域を指定し、事業を展開 ○整備地域 (6,900ha) ○重点整備地域 (3,200ha) ○老朽建物の除却助成 ○不燃化建替え(戸建建替え・共同建替え)の助成 ○公園・広場等の整備補助 ○生活道路の整備補助 ○都市計画道路の整備 ○都市計画道路 沿道建物の不燃化建替え助成	○区のサポート体制整備 ・人事交流を通じたノウハウの蓄積 ・監理団体の活用を通じた事業の加速 ⇒区のマンパワー不足を解消 ○積極的な情報公開 ・エリア別の進捗状況(不燃領域率)発信 ⇒都民への周知 ○地域特性に対応 ・防災生活道路の拡幅整備 ・既存コミュニティに配慮した魅力的な移転先の確保(例: 所有地活用) ⇒不燃化の加速
		・ 70% (H32年度) ※70%を超えると市街地の延焼の危険性がほぼなくなる	・ 62% (H27年度末参考値) (地震時の危険度が高い地域(20区)の平均値)		
倒れない	住宅	○耐震化率	○耐震化率	○耐震診断・補強設計・改修助成 ○耐震化アドバイザーの派遣	
		・ 95% (H32年度)	○耐震性不十分な住宅 ・ 約107万戸		